

**令和2年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会  
子宮がん部会 概要**

1 日時：令和3年1月18日(月) 13:30～15:00

2 場所：オンライン形式 (WEB 開催)

3 出席者：

|        | 氏名      | 所属  |
|--------|---------|---|
| 委員     | 横山 康宏   | 岐阜県総合医療センター女性医療センター長・女性科部長                      |
|        | 石原 恒明   | 岐阜県医師会 理事                                       |
|        | 波多野 裕一郎 | 岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍病理学分野                            |
|        | 西脇 麻菜美  | 市町村保健活動推進協議会保健師部会 (郡上市)                         |
| オブザーバー | 伊藤 陽一郎  | 関保健所 所長 <span style="float: right;">【欠席】</span> |
| 事務局    | 赤尾 典子   | 保健医療課長兼健康推進室長                                   |
|        | 森 稚加子   | 主幹兼がん対策係長                                       |
|        | 中島 早映   | 技術主査  |

4 内容：

報告：1 令和元年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会子宮がん部会議事

2 岐阜県のがんの現状等

- ・子宮頸がんの75歳未満年齢調整死亡率及び罹患率はいずれも全国平均よりも高くなっており、今後も対策の継続が必要。
- ・実際に早期診断できている患者の中に検診受診者がどの程度含まれているか等、データの分析を進めていくと良い。

3 がんの予防(子宮がん検診)の推進について

(1) 正しいがん検診の実施

- ・新型コロナウイルス感染症の流行下においても、がん検診を継続していく必要性があり、感染対策と検診受診を両立させる体制構築が求められる。
- ・子宮頸がん検診ガイドラインの改訂により、HPV検査の推奨グレードがAに上がったが、国統一のアルゴリズムは示されておらず、直ちに検診に導入することは困難。今後も国の動向や県内市町村の取組み等を確認していく。

(2) がん検診マネジメント

- ・経年的に要精検率が高く、許容値を満たしていない市町村・検診機関に対しては、プロセス指標値を還元し、改善を促す通知を行う。
- ・精検未受診者の検診結果を把握し、傾向等を分析して対策につなげていけると良い。

(3) がん検診の受診率向上対策

- ・検診受診率が低い市町村では検診機会が十分に設けられているか等を振り返り、原因を検討する必要がある。

- ・ 検診の勧奨資材等は若年層をターゲットとする時は、その保護者に対しても教育的な意味を持つ物であることが望ましい。

⇒上記協議結果について、市町村及び検診機関に通知を行い、精度向上に向けた取組みを促していく。